



全国サンマッシュ生産協議会

# 第32回全国大会 『がんばっぺIN福島』



## 福島県大会 開催報告



会場：福島県 郡山市 ホテルハマツ

平成30年1月30～31日

# 第32回全国大会 『がんばっぺーN福島』福島県郡山市で開催



司会 渡辺支部長

## 式典 総会

今大会は『福島』の大きな底力がしっかりと見える大会となりました。

トップレベルの品質と生産量を誇っていた福島県。あの災害からいくつもの苦難を強いられてきました。しかしその状況は、現在、生産者のすばらしい努力でがっちり二元に戻りつつあります。

開催地はこれからもまだまだ「がんばっぺー」の勢いをつなげている福島県郡山市です。雪景色の中、北は北海道、南は宮崎から650名の皆様にご参加いただきました。

1月30日午後1時30分から大会式典が開催され、主催者を代表して森坪会長が挨拶。次に来賓の福島県副知事畠利行氏、林野庁特用林産対策室長長江良明氏、福島県議会議員長吉田栄光氏、郡山市市長品川萬里氏、JA福

島五連副会長結城政美氏、(株)北研の川嶋社長からご祝辞を頂戴いたしました。

第32回通常総会では、事業報告、収支決算報告、平成30年度の事業計画・収支予算案、役員改選について審議し、原案通り可決されました。

## 特別来賓

- |                |                                  |                  |                |                    |                       |                       |                     |                  |                    |                     |                       |                           |                        |                       |                      |
|----------------|----------------------------------|------------------|----------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|
| 福島県 副知事 畠 利行 様 | 林野庁 林産部 林産対策室 特用林産対策室 室長 長江 良明 様 | 福島県議会 議長 吉田 栄光 様 | 郡山市 市長 品川 萬里 様 | JA福島五連 副会長 結城 政美 様 | 衆議院議員 吉野正芳 代理 佐野 正芳 様 | 衆議院議員 菅家一朗 代理 菅家 一朗 様 | 衆議院議員 根元匠 代理 根元 匠 様 | 福島県議会 議員 佐藤 憲保 様 | 福島県 農林部 部長 半澤 正志 様 | JA全農福島県支部 部長 堀 浩之 様 | 福島県 農協連合会 代表理事 赤塚 誠 様 | 全国サンマツシユ生産協議会 前会長 吉田日出夫 様 | 株式会社北研 代表取締役社長 川嶋 健市 様 | 株式会社北研 取締役相談役 内堀 俊幸 様 | 株式会社北研 常務取締役 鮎澤 澄夫 様 |
|----------------|----------------------------------|------------------|----------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|

## 栽培研修会

栽培研修会では【品種編】として、栽培事例から学ぶサンマツシユ品種の使い方を、品種別に6事例の紹介がありました。

【技術編】として、現場から生まれた技術の紹介と題し、培地製造技術と発芽処理技術について紹介がありました。

そして【栽培術マニュアル4】、22頁からなる発生編の冊子を使って解説がありました。

また、翌日の視察研修地である渡辺様(有)M&Aふあーむ・わたなべ)と、大野様の栽培施設についての解説がありました。



## 第28回品評会

栽培研修会のもの、来場者の関心もつとも高い品評会の観覧。最高賞付近には密度の高い行列ができました。なお、授賞式は懇親会の前に行われました。(受賞者名と作品は次ページ)



## 懇親会

相馬野馬追のほら貝、映画『フラガール』で有名になったフラダンス、地元三春町のひよっこと踊り、福島県支部青年部による福島応援歌などで盛り上がりました。(後に関連記事)

品評会場、業者出展会場、懇親会、視察研修会では、みなさん意欲的に交流、質問、研究されている様子でした。



## 視察研修会

翌日31日には、大型バスに分乗し、福島県環境回復・創造の展示施設「コミュニティ」にも立ち寄りつつ、視察現場である【渡辺様】、【大野様】の栽培状況を視察させていただきました。(後に関連記事)



会場が一つになった福島応援歌 懇親会

## 塩沢弘顧問を 偲ぶひととき

昨年末、逝去された塩沢弘顧問を偲ぶひとときをもうけさせていただきました。(株)北研 鮎澤常務より故人の紹介が行われ、従六位叙位が知らされました。



故 塩沢弘 相談役



左より (株)北研川嶋社長、塩沢淳様(ご長男)、令夫人、林野庁長江室長、森坪会長



会場内には、故人を偲ぶコーナーがもうけられました

位記は、林野庁林産部経営課特用林産対策室室長の長江良明様より、ご遺族へ手渡されました。続いて(株)川嶋社長より感謝状が、サンマツシユ森坪会長より感謝状が贈られました。ご遺族を代表して、ご長男

である塩沢淳様よりご挨拶をいただきました。【故塩沢弘顧問の紹介】北研産業(株)創業者で、(株)北研社長・会長・相談役を歴任。全国サンマツシユ生産協議会顧問。全国食用きのこ種菌協会会長・顧問を歴任。黄綬褒章・旭日小綬章を受章。

# ◆ゴールデンサンマッシュユ賞◆



## 円谷康夫

福島県 607号 M(6枚)



# ◆株式会社北研賞◆



富士ソフト企画株式会社  
西会津しいたけファーム  
福島県 607号 M(6枚)



# ◆金賞◆

- 佐藤英樹 岩手県 705号 M(6枚)
- 金澤富一 岩手県 705号 M(6枚)
- 小沢進 岩手県 705号 M(6枚)
- 藤原信博 秋田県 705号 M(6枚)
- 渡辺紀幸 福島県 705号 M(6枚)
- 大野みどり 福島県 705号 M(6枚)
- 山根きみよ 三重県 705号 M(6枚)
- (株)フーシツ 兵庫県 705号 M(6枚)
- 富永正 島根県 705号 M(6枚)
- 小椋達登 福島県 607号 M(6枚)
- 大野一宏 福島県 607号 M(6枚)
- 田村治 福島県 607号 M(6枚)
- 古田正和 岐阜県 607号 M(6枚)
- 政木由香 岐阜県 607号 M(6枚)
- 上森政子 岐阜県 607号 M(6枚)
- 山根きみよ 三重県 607号 M(6枚)
- 上森由紀男 岐阜県 603号 M(6枚)
- 西田孝子 岐阜県 603号 M(6枚)
- 高嶋真佐夫 石川県 788号 M(6枚)
- 社会福祉法人ウヰズ 鳥取県 600号 M(6枚)

# 第28回 品評会結果

今回の出品数は、合計1,020点となりました。最高の栄誉であるゴールデンサンマッシュユ賞には福島県の円谷康夫様が選ばれ、株式会社北研賞には福島県の西会津しいたけファーム様が選ばれました。特別賞には石川県上野誠治様、宮城県千葉敏明様、島根県日高靖宏様、栃木県廣田修様。支部別の団体賞には岐阜県支部が選ばれました。

## 団体賞 第一位

### 岐阜県支部



# 品評会について



青木選考委員長

今回で28回目となる歴史ある品評会ですが、今年も全国から高品質でポリユームのあるきのこが全国から集まってきました。

今回の受賞作品については、ご当地福島県の品物が良かったです。開催地ということとで、どうしても意識して見えてしまうところもあるのですが、今回はそれを差し引いても、全国レベルで良いものも多く出品されたと思います。

この品評会には、全国から多くの作品が寄せられます。その成果を見比べていただくことで、技術向上への思いを、より高めていただくことと思っております。

今後も、1点でも多く出品していただけることを期待しています。

今回の品評会では600号から最近の品種である788号という多くの品種が出品されました。審査はそれぞれの品種に合わせた基準を設けて評価をしています。

品種は地域の気候や、栽培スタイルによって選ばれているようです。九州地方では600号を移動台車で栽培するのが主流となっていますが、四国近畿中部地方では607号が主で、品質の良いポリユームのあるきのこを出してきています。連続して団体賞をとっている岐阜県支部は、この品種を使っています。

東北地方では、秋から春先まで長く採ってゆく品種が選ばれています。近年では607号から705号に変わってきていて、今回の品評会でも、705号の出品割合が607号を超えました。

今後も生産向上のための用品種やスタイルを研究する材料になればと思います。

## 選考状況



## 川嶋社長にインタビュー



毎年、回を重ねるごとに、みなさんの技術向上を感じます。粒削りの逸品が出てきて、審査でも甲乙つけがたく迷います。

受賞作に関しては品揃えとポリユーム感、一つ一つのきのこの鱗皮が本当によく揃っていて、これは誰が見ても甲乙つけがたいですけども、誰が見ても最高だなというのが選ばれています。

同じ705号や607号にしても、作り方によってこんな風に違った品質の品物ができるという結果に、技術への学びを感じられました。

品評会を見ていただいて、自分が、どうやったらどんなきのこが作れるんだろうという風に考えていただくことが、技術の進展につながってゆくのだと思います。



# 全国大会に参加した皆さんの声を聞いてみました

福島県支部の皆様



2011年の災害から7年。やっとここまでこれたという感じですが、まだまだではありませんが8割が戻ってきたと思います。特に青年部（後継者）の方々が非常に頑張ってくれています。我々の復興の礎になってくれています。

ここに来て全国大会が福島県で開けるといことは感無量です。これからますます福島県の栽培が発展してくれると信じています。

原発30キロ以内で頑張っています。全国大会がやっと福島に来てくれて嬉しいです。今日来ているのはベトナムの研修生で全国大会を楽しんでゆきたいです。明日は頑張る仕事です。



福島県三春町から初めての参加です。近くで開催とのことで来たので品評会が楽しみです。近くですが視察も参考になります。近くで来た開催があれば行きたいです。

宮城から来ました。参加は4回目です。ゴールデンサンマッシュ賞の出来具合がどうなのか気になります。毎年更新される新しい技術を率先して導入してゆきたいなという思いがあります。視察でも学ぶところは多いです。



岩手県花巻市より来ました。毎回来ています。みんなと会って交流したり、また品評会が楽しみです。去年入賞しましたので。視察も勉強になりますし、全国大会では、ないものを得ることが出来ます。毎年、日々、変わっているのホントに来ないと損しちゃいます。



福島県中島村でしいたけの生産販売をしています。昨年の福岡や宇都宮にも参加しました。



ロビーでの業者出展はいつも使っていない設備や用品などを確認したり、今後自分たちが品種に合わせた設備なども見直したり整えたりしなければいけない中で、色々な情報をもらえる場所だと思っています。色々話を聞き出したいです。

過去の現地視察では福島ではやっていない栽培方式などが見られて、勉強になり、自分でやるにも幅が広がります。今まで色々見がありました。

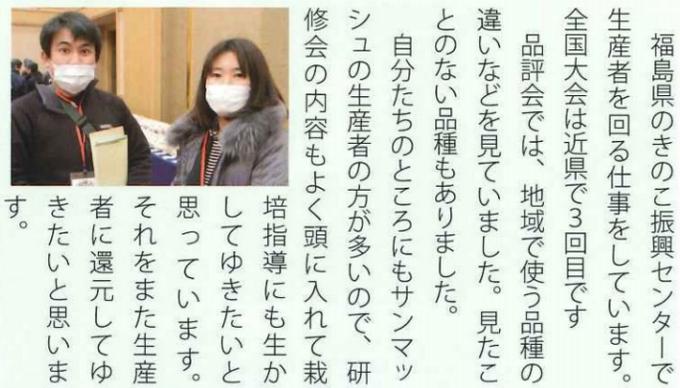


岩手県から初めて来ました。聞いているので行ってみたいと思っています。品評会に出品されているものも現物は見たことがなかったの、よく見て、自分たちのものも近づけたいなと思います。今後自分たちも出してみたいです。

岐阜県から、もう何回も来ています。いろんな普段会わない地区の方と話ができるのが楽しみです。自分のわからない技術のことなど視察も楽しみです。



福島県のきのこ振興センターで生産者を回る仕事をしています。全国大会は近県で3回目です。品評会では、地域で使う品種の違いなどを見ていました。見たことのない品種もありました。自分たちのところにもサンマッシュの生産者の方が多いので、研修会の内容もよく頭に入れて栽培指導にも生かしてゆきたいと思っています。それをまた生産者に還元してゆきたいと思っています。



徳島からです。毎回来ています。自分のところで行っている品種の再確認、新品種の発生、別の産地の変わったやり方の勉強に来ています。



視察では似通った栽培をしているところで効率よく手を抜くところとかしめなければいけないところなどをチェックしています。会場の業者出展では自分の使っている機材の業者さんなどから新情報を取り入れています。



徳島からです。一番は現地の視察です。また業者出展での新しいものがないかチェックしていきます。



三重県から来ました。毎年来ています！



千葉県から来ました。参加は2回目、前に栃木に行きましたが、色々勉強になることがありました。こういう雰囲気知らなかったのです。まずは視察で生産者のところを見にゆきたいと思っています。同じ品種を作っているの、どいう風にしてやっているのか興味があります。

研修会では、すぐ実践できることを教えてもらえるとありがたいですね。また、新しいことを聞くことで、自分たちの中で馴れ合いになってしまっていることの見直しや再勉強になります。品評会は、本当にみなさん見事だなあと思いましたよ。金賞とか特別賞はやっぱり違いますね。



福島県支部青年部の皆さん

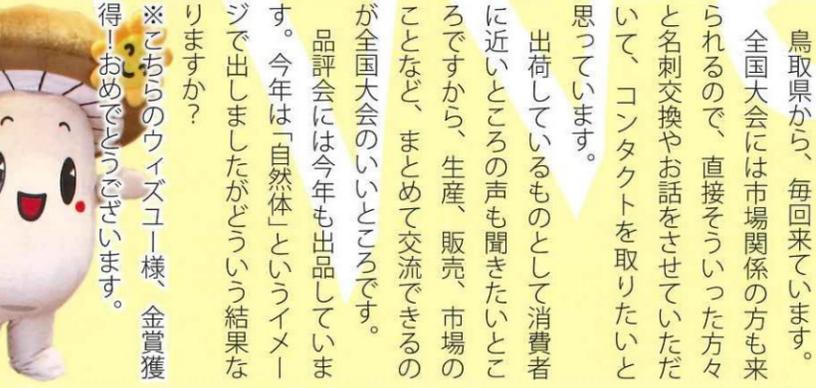
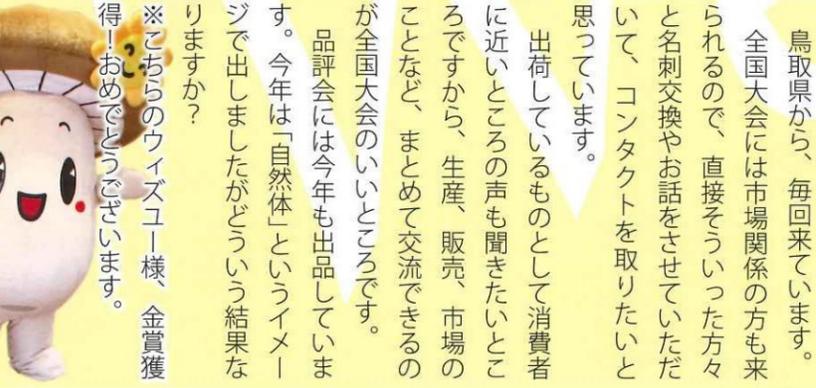


今日は駅前やバス停などで来場者の案内、受付などをやらせていただきました。皆さんの皆さんに来ていただけてよかったです。青年部は、自分たちがこれからの福島県の産産を背負うんだという気持ちでやっています。まだまだ原発事故の風評被害がなかなか払拭できない部分があります。そこで私たちはふくしまの恵みPR支援事業という消費販売活動支援事業を活用して、首都圏や近隣県に販売会という形で消費宣伝活動をしています。今回の全国大会はいい後押しになると思います。品評会でも福島県の品物が他県に負けずに評価されていますし、こうした実績をまた自信に、また売りにして障害を乗り越えてゆきたいと思っています。

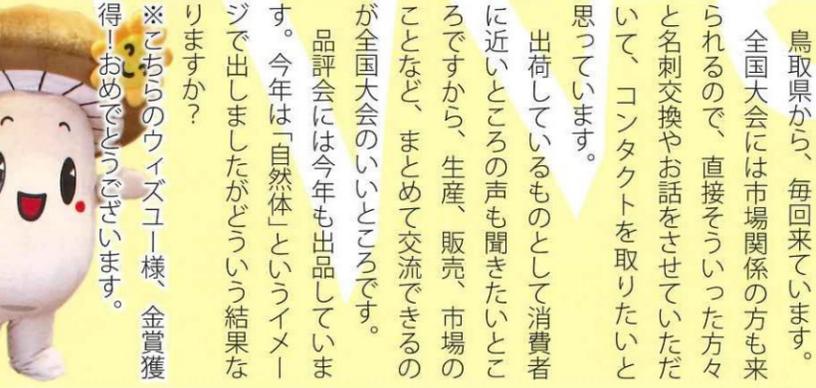
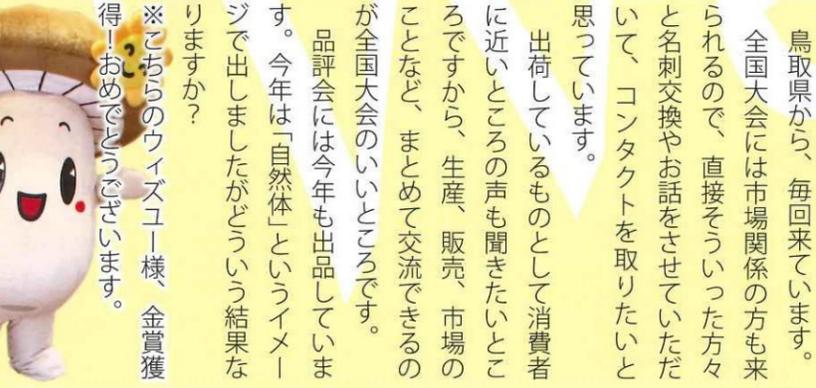
鳥取県から、毎回来ています。全国大会には市場関係の方も来られるので、直接そういった方々と名刺交換やお話をさせていたただいて、コンタクトを取りたいと思っています。



出荷しているものとして消費者に近いところの声も聞きたいところですから、生産、販売、市場のことなど、まとめて交流できるのが全国大会のいいところです。品評会には今年も出品しています。今年は「自然体」というイメージで出しましたがどういった結果になりますか？ ※こちらのウイズユー様、金賞獲得！おめでとうございます。



愛知県はしいたけ栽培農家がまだ少ないこともあり、そういうことトータルで学んだり知ることが出来るのが全国大会ですね。どんな人が働いているのかとも興味がありますが、今回の来場者も、年配から若い人、今日は外国人の方も勉強しに来ていて刺激になります。自分のところにもそういう方々が働きに来たくなるように生産量を増やしたいです。

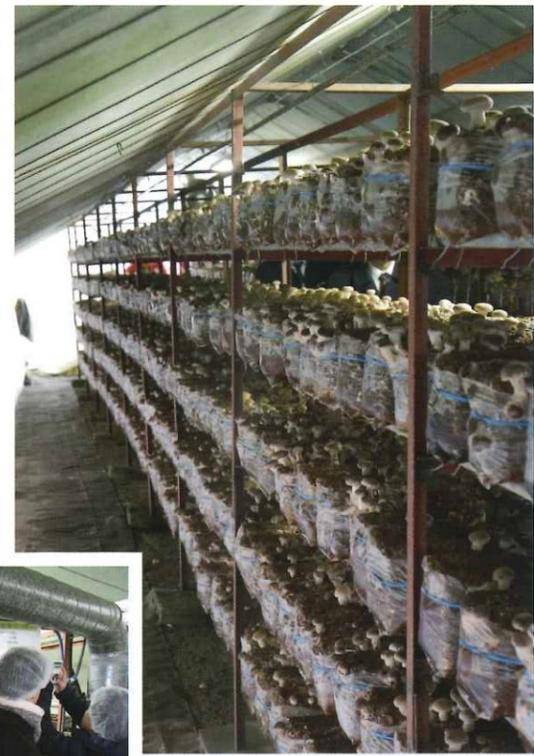


# 視察研修会 渡辺様

(有)M&Aふぁーむ・わたなべ



渡辺様



(有)M&Aふぁーむ・わたなべ様会場では、非常に寒く足元に雪が残る中大勢の皆様が見学されました。北研607号の発生をご覧いただき、コンテナ移栽装置「スーパードーク」の実演説明がありました。  
パイプハウスを利用した臨時の休憩所ではJA福島さくら様ご協力の下、温かい豚汁とおむすびが振る舞われました。お土産品コーナーも設置され、福島県のお土産ランキング上位に入る地元三春町「かんの屋ゆべし」や喜多方ラーメンが販売されました。

# 視察研修会 大野様



大野様



大野様施設では、ゴールドサンマツシユ賞(第27回全国大会品評会)や農林水産大臣賞(福島県産のこ品評会生シタケの部)を受賞されるなど、高い栽培技術による高品質の607号103や705号のシイタケが発生している状況を視察できました。  
天栄村の豊かな自然の中で手間ひまをかけて育てられた品質、食味が良い上質なお米、天栄米が配られました。また、温かい甘酒が振舞われ寒さで冷えた体が暖まりました。

# 懇親会

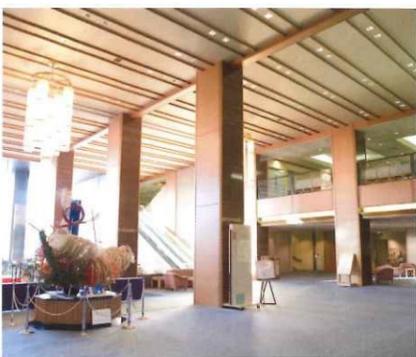


乾杯：吉田日出夫  
前会長

## 会場の様子

会場前のホワイエでは、各関係業者による出展が行われました。

新情報を集めに、参加者のみなさんは商品を手にとって、また、熱心に話し合う様子が各所で見られました。別のコーナーでは地元産物の販売も行われ、お土産品の購入でにぎわっていました。



会場となった郡山市ホテルハマト



郡山市のイメージキャラと『がくとくん』と『おんぷちゃん』



森坪会長挨拶につづいて、全国サンマッシュ前会長の吉田日出夫様に乾杯のご発声をいただきました。「がんばっぺ〜 ふ・く・し・ま」の三唱は、胸に響くものでした。ステージでは、相馬馬追いで使われるほら貝の実演、迫力ある響きが会場を包みみました。

レイモミ小野フラスカールのフラダンスショーにはサンマッシュくんも飛び入り！三人のひよっとこさんは、会場内を廻り周りに微笑みと笑いをふりまいて、会場をにぎやかにしてくれました。



司会：伊藤康平 宮城県支部長



## 出展業者

- 賛助会員 ○
- 株式会社 エフテック
- 株式会社 オリケイ
- 株式会社 フジパックシステム
- 株式会社 ベルグリーンワイズ
- 株式会社 シナノポリ
- 株式会社 ニーズ
- 株式会社 羽生田鉄工所
- 株式会社 マキテック
- カワバタ産業株式会社
- 協全商事株式会社
- 三富産業株式会社
- 大紀産業株式会社
- ダイキン工業(株) 低温事業本部
- トーアメック株式会社
- 三菱重工冷熱株式会社
- 福栄産業株式会社
- 有限会社 宇都宮紙器印刷
- 株式会社 石崎電機製作所
- その他の関連業者 ○
- 石村工業株式会社
- 株式会社 三基
- 株式会社 ギンポーパック
- 株式会社 モリシタ
- 三喜化成株式会社
- 三甲株式会社
- 大朗物産有限公司
- 東京インキ株式会社
- トーホー工業株式会社
- ヒルテブランド株式会社

『がんばっぺIN福島』大会では、事前準備を含め当日の運営応援にいたるまで福島県支部、とりわけ青年部『結』の皆様にご協力頂きました。ありがとうございました。

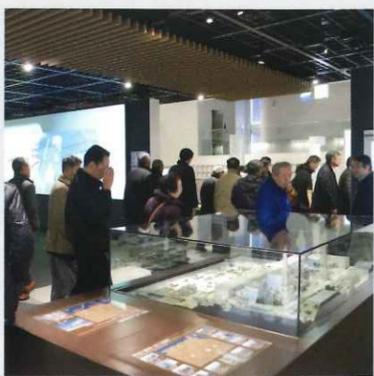
来年は、栃木県にて第33回

## コミュニティ福島

視察研修時に立ち寄ったコミュニティは、311から現在へ、そして未来に向け環境回復・創造の学びと発信を目的とした各分野の展示を中心にした複合施設。

農林水産物は大きな被害と其の後の風評被害に悩まされています。こういった展示から学び、正しい知識を持って立ち向かってゆきたいですね。

一緒に『がんばっぺ』！



大会の予定です。今大会同様満足いただける大会を目指してまいりますので、会員各位には是非ともご参加いただきますようお願い申し上げます。

事務局一同



会場をひとつにしたのは、福島県支部青年部による『ふくしま応援歌』。森坪会長もステージに上がり、会場のみなさんも応援の手拍子。会場全体で「アイラブユーベイビふくしま アイニージューベイビふくしまが好き！」これからもいっそう『がんばっぺ福島』の気持ち伝わる力強いステージとなりました。そして会場の皆さんの胸にもしっかりと届いたことでしょう。

中締め…芳賀敏行福島県青年部長



全国サンマッシュ生産協議会 第32回全国大会開催報告

編集責任者：全国サンマッシュ生産協議会事務局

発行元：株式会社北研

2018 04